

てらこし和洋の一般質問 (令和元年6月18日)

Q1 認知症対策

質問 国は学校にて、高齢社会の現状や認知症の人を含む高齢者への理解を深める教育を求めているが、現状は。

答え 中学校にて、高齢者福祉施設等で認知症の人を含む高齢者と触れ合う体験や、吹奏楽部による演奏活動、高齢者宅に絵手紙や花を届けるボランティア活動を通じ、高齢者との交流活動を行っている。

質問 小中学校で認知症サポーター養成講座の開催状況は。

答え 認知症キッズサポーター養成講座を、周知する。
質問 国は、認知症の本人ミーティングを推進予定だが、白山市の考えは。

答え 認知症の本人が集う、自身の体験や希望などを語り合う本人ミーティングは、大切なことと考えている。本市では、認知症の本人と家族、地域住民が集う、認知症カフェを開催している。平成30年度は8カ所、延べ1,069人の参加で、増加傾向なので、継続的に取り組んでいく。

Q2 ドクターヘリの運航

質問 白山市に対してのドクターヘリの出勤回数は。
答え 運航開始の昨年9月24日から今年6月6日まで山間部と平野部への出勤は、各9回、合計18回。

質問 ドクターヘリ要請の判断の指導は。
答え 消防本部の訓練の中で、現場に駆けつけた救急隊が傷病者の容態や搬送に係る時間からドクターヘリの必要性を判断し、通信指令課から要請する訓練を行っている。

質問 積雪時のランデブーポイントは。
答え 消防本部が候補地の除雪状況等を確認し、基地病院と協議の上、使用の可否を決めている。

Q3 道路の渋滞対策

質問 国道8号(乾東交差点から宮丸交差点間)の6車線化は。

答え 今年度、現地測量、道路設計などを行い、道路管理者や警察など各関係機関と協議を予定。

質問 加賀産業開発道路の朝夕の渋滞解消対策は。
答え 県では、安養寺北交差点で昨年度より、右折・左折レーンの工事を実施。市としては、渋滞対策について、国・県へ要望して行く。

質問 金沢鶴来線、野々市鶴来線、市道曾谷町19号線の混雑解消の対策は。

答え 加賀産業開発道路と交差する道路の渋滞が鶴来地域方面に連なっていると認識している。渋滞緩和のため、来年度末を目途に四十万安養寺線の道路整備を行っている。広域的な渋滞対策は、関係市と協議して行く。

質問 陽羽里町内と金沢市南四十万3丁目地内の無名橋を新しく架橋せよ。

答え 高橋川改修事業にあわせて架橋する方向で県と協議済み。

Q4 松任石川中央病院内に事業所内保育施設の設置を

質問 医師・看護師・事務職員等の福利厚生対策として、病院内に保育施設の設置を求める。

答え 事業所内保育施設は、乳幼児を持つ職員の、仕事と家庭を両立する上で有用な福利厚生の一つとして認識をしているが、公立病院の場合は設置・運営の国の補助対象とならないので、保育施設の設置は難しい。

Q5 海外交流事業の充実を

質問 7月に石川中央都市圏を構成する4市2町(白山市・金沢市・野々市市・かほく市・内灘町・津幡町)が参加する「国際交流の未来をつくる若者フォーラム」の目的は。

答え 国際感覚あふれる若者の育成を目的に、石川中央都市圏国際交流連絡会が、国際交流事業に参加経験のある中学生から社会人が、国際交流の経験の意見交換会を行う。

質問 フォーラムを通じて期待する事は。
答え 多感な青少年期に、国籍や文化等の異なる人々との交流体験を通じた学びや発見、感動を得た思いや、これからの社会に必要な多様性や多文化共生について考える機会となり、若者が大きく成長することを期待。

Q6 プログラミング教育

質問 国は、来年度からの小学校プログラミング教育の実施に向け、本年9月を「未来の学びプログラミング教育推進月間」と設定し協力依頼があるが、考えは。

答え 今年の夏休み中に各小学校でICTサポーターによりプログラミング教育の研修を実施し、9月以降の各教科の授業で実施できる体制をとる予定。

Q7 砂防事業及び河川事業対策

質問 県が進める、砂防ダムの堆積土砂除去の箇所は。
答え 鶴来の曾谷大谷川、鳥越の駿馬川、河内の大倉谷川、吉野谷の吉野大谷川、尾口の目附谷川、白峰の明谷川等、10箇所です。工事発注済み。

質問 崖崩れを止める擁壁の工事予定は。
答え 急傾斜地崩壊対策事業として市内3カ所にて実施中。月橋地内で、昨年度月橋2号が終了し、今年度より隣接箇所を月橋3号として調査設計に着手。

質問 河川の堆積土砂除去の予定は。
答え 屋越川で土砂除去工事を実施中。

てらこし和洋のプロフィール

- 昭和33年3月4日生まれ
- 昭和48年3月 白山市立鶴来中学校卒業
- 昭和51年3月 県立金沢錦丘高等学校卒業
- 昭和55年3月 神奈川大学経済学科卒業
- 平成7年4月～ 旧鶴来町議会議員
- 平成17年3月～ 白山市議会議員
- 平成26年3月～27年3月 白山市議会議長(第10代)
- 平成29年2月 白山市議会議員当選(通算7期目)

現在の役職

- 議会での所属 / 総務企画常任委員、議会運営委員、議会の在り方検討特別委員、白山市サッカー協会副会長、白山市相撲連盟代表
- その他の役職 / 白山市サッカー協会会長、白山市相撲連盟会長、石川県フィンランド友好協会副会長、石川県サッカー振興議員連盟会長、白山市自衛隊募集相談員、クレイグランドゴルフクラブ会長、神奈川大学宮後会石川県支部常任幹事、錦丘高校同窓会代表幹事、元秋田犬保存会石川県支部展覧会名誉会長

※詳細は市の広報紙やホームページをご覧ください。

白山市議会議員

てらこし和洋

白山市議会通信

2019年 秋号

秋が深まる今日この頃、貴台始めご家族の皆様方におかれましては、益々ご清祥にてお過ごしのこととお慶びを申し上げます。

年号が令和に変わり、私たちの生活にも馴染んで来たように感じます。

新しい時代が、安心して安全に暮らせる安定した社会となるよう、期待したいと思います。

国政においては、第4次安倍第2次改造内閣で新しい閣僚が誕生しました。新閣僚の方々には、国民のため誠心誠意の働きをお願いするところがあります。

石川県政においては、谷本知事も安定期に入り、新幹線効果の拡大と安心安全なる県土づくりを求めて行きたいと思っております。

今、白山市議会では、議会の在り方特別委員会において、市内28地区を廻り、若者から熟年層の方々との意見交換を行っております。20地区が終わりその中で市民の方々からお聞きする事は、議会に対しての注目度が弱いことと、議員との懇談を希望していることで、改めて議員が地域に出向き意見交換する必要を痛感しました。また、各地域での意見交換を通じて、二元代表制の在り方を感じ入りました。個人的に思う事は、議員が

20人位の議会では議員が一体となり、市執行部と議会との是々非々の関係の中、切磋琢磨することが大事ではないでしょうか。

さて、白山市は、6月に東洋経済新報社から「全国住みよさランキング2019」において全国第1位の評価を頂きましたが、個人的には、まだまだ格差があると思っています。今後は、SDGs(持続可能な社会づくり、誰一人取り残さない社会づくり)推進の理解を深め、市民の皆さんが、満足するような施策の充実が必要であります。

私自身は軸足が市民であることを忘れずに、声なき声を大事にしながら、人間力を磨き、夢と希望と努力することが報われ、安心して暮らすことが出来る安全なるまちづくりの推進を図ってまいります。

最後に今後とも、さらなるご指導ご鞭撻ご叱咤を賜りますようお願いを申しあげ、貴台始めご家族皆様方のご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。



(第10代議長で議長席にて)

※平成30年度決算と平成25年度決算の歳入の比較(主なもの)

項目	平成30年度	平成25年度
市税	196億6,499万円	159億3,487万円
地方消費税交付金	21億6,312万円	10億8,085万円
地方交付税	90億 38万円	126億 215万円
国庫支出金	57億7,080万円	88億4,430万円
県支出金	32億2,505万円	38億7,956万円
市債	51億6,010万円	87億 250万円

◎平成30年度 決算	金額
一般会計歳入(収入)	501億5,776万円
歳出(支出)	488億6,298万円
総額歳入(収入)合計	738億7,655万円
歳出(支出)合計	721億4,425万円
市債(借金)合計	861億2,086万円
基金(貯金)合計	93億1,528万円

※企業会計は除いています。詳細は市の広報紙やホームページをご覧ください。

てらこし和洋後援会事務所

てらこし かずひろ

白山市議会議員 寺越 和洋 後援会事務所

〒920-2146 白山市日向町和110番地 TEL・FAX 076-272-2789

- E-mail terakos@asagaotv.ne.jp
- メールアドレス terakoshikazu@docomo.ne.jp
- メールアドレス terakoshikazu@gmail.com
- 携帯電話 090-7088-0000